

ニキビ、シミ、シワ、  
肝斑、皮膚炎等の  
症状をお持ちの方へ



# お肌の様々な症状はどうして起こるの？

何をしてもお肌の症状がなかなか改善されずに悩んでいませんか？その原因はどこにあるのでしょうか。

人間の皮膚はタンパク質でできています。タンパク質は、熱を加えたり、強いアルカリにさらすと、高次構造を維持できず、活性の低下・消失が起こります。これをタンパク質の変性といいます。タンパク質が変性してもその分解と修復はミリ秒(1/1000秒)単位で行なわれています。ところが、死んだ細胞である角質に覆われた皮膚では、タンパク質の修復が上手く行なわれる人とそうでない人に個人差があるのです。タンパク質の修復が上手く行なわれないお肌の方は、変性物質との接触が原因でカサつきやニキビ、湿疹、炎症など様々な症状が現れます。しかも変性物質との接触は、当たり前と思っている生活習慣の中で繰り返されているのです。症状を改善するためにはタンパク変性物質との接触を断つことが大切です。



タンパク変性物質が入っている可能性のある生活用品

## 生活用品

- 指定製品以外の洗濯用洗剤
- 入浴剤
- クリーニングに出した衣類
- 布製品用消臭スプレー
- マスクなど



## 洗浄料

- クレンジング
- 石けん
- 洗顔料
- ボディシャンプーなど



## メイクアップ化粧品

- 日焼け止め
- 下地クリーム
- ファンデーション
- フェイスパウダー
- チークなど



## ヘアケア化粧品

- シャンプー
- リンス
- トリートメント  
(洗い流さないものも含む)
- 整髪料など

## 基礎化粧品

- ローション
- 美容液
- クリーム
- バックなど

# 非接触療法

非接触療法とは、タンパク変性物質との接触を断ち、症状の改善を目指す療法です。  
医師の指導に従い、下記のことを行なってください。

洗濯洗剤を切り替えてください。



全ての化粧品の使用を中止してください。  
(スキンケア・メイクアップ共に)

シャンプー・リンスは使用せず、  
お湯で髪を洗ってください。



石けん・ボディシャンプーは使用せず、  
お湯で身体を洗ってください。

洗顔は水またはぬるま湯のみで行ない、  
洗顔後は何もつけないでください。



タンパク変性物質との接触を断つことにより、  
症状が改善されます。

# ビタミンC塗布療法

ビタミンC塗布療法とは、ASVC(活性保持型ビタミンC)を3ステップで使用する方法です。非接触療法とビタミンC塗布療法を併用し、3つのステップを着実に実践することにより、既往歴や年齢を問わず、すぐに皮膚の変化が現れます。

## STEP 1

- タンパク変性物質との接触を断つ。
- 顔、身体にASVC22を使用し、傷んだ皮膚を整える。

1ヶ月



### 皮膚の変化

- ・面皰(コメド)形成を抑制する
- ・くすみが取れる
- ・開大した毛穴が縮小
- ・皮膚の紅斑の改善
- ・皮膚掻痒の改善
- ・皮膚炎の症状軽減 など

## STEP 2

- 顔、身体にASVC28を使用し、皮膚全体を整える。

1ヶ月



### 皮膚の変化

- ・色素沈着の改善
- ・シワの軽減
- ・皮膚の弾力性向上 など

## STEP 3

- 皮膚の気になる部分にASVC35を使用し、集中的に治療する。
- 改善された皮膚状態を保つ。

1ヶ月～



### 皮膚の変化

- ・肝斑、老人性色素斑の改善
- ・シワの改善
- ・皮膚炎の改善 など

シャンプー・洗濯用洗剤をこちらの製品に切り替えてください。

### ● シャンプー

シャンプーの代替品として、ASVCまたはレメッド WPシャンプー(小麦粉シャンプー)を使用し、完全脱シャンプー・リンスを目指しましょう。



### ● 洗濯用洗剤

ライオンのトップ クリアリキッドに切り替えてください。柔軟剤・蛍光増白剤無配合の液体洗剤は現在1点のみです。石けん洗剤、柔軟剤、アルカリ剤、抗菌剤、粉末洗剤、ホームクリーニング用中性洗剤は使用しないでください。



# 非接触療法とビタミンC塗布療法のポイント

## ■日常生活の注意事項

### 紫外線対策は？

日焼け止めは界面活性剤、シリコンを含んでいる場合があります、毎日、長時間使用することによってお肌が傷んでしまう可能性があります。また、洗浄力の強いクレンジング剤でなければ落とせないものもあります。夏の日差しでも日常生活の紫外線では、日傘や帽子、長袖の衣類などで防ぐことをおすすめします。お肌を傷めるものに接触しないようにすることは、シミの予防につながります。



### お肌のザラザラ、ガサガサした手触りが気になるときは・・・

ザラザラとした手触りを感じたら、それは"角栓"ができています。角栓は皮脂と角質でできています。毛穴の角質がちょっと多めに剥離して、お肌の一番上まで押し上げられたものです。いずれは自然に取れるものですから、取ってしまっても問題はありません。お風呂に入って身体がよく温まったら、手ぬぐいでお肌をそっとぬぐってみてください。強くこすらないようやさしく行なってください。自然に余分な角栓が取れて、滑らかなお肌になります。



### 運動・栄養・休養も忘れずに。

睡眠不足やストレス、体調の変化にお肌も影響を受けています。適度な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠を心がけましょう。皮膚も身体の一部ですので、体調だけでなくお肌の調子も整えることができます。



### ステップ3まで到達し肌状態が改善したら？

改善後も、お肌に接触するものは、必ず全成分を確認してから使うようにしましょう。

## ■ASVCについて

### ASVCをつけた後、赤みやカサつきなどが出るときは？

傷んだお肌にはASVCが刺激となることがあります。ステップ1で接触しているものを再度確認してみましょう。冬はセーターやマフラー、コート、毛布など柔軟仕上げをしてあるものとの接触にも気をつけましょう。

### ASVCをつけてピリピリするときは？

お肌の傷んでいる部分がピリピリします。ASVCを塗ってピリピリするときは3分待たずすぐに洗い流しましょう。ダメージが早く整いますので、毎日使用するようにしてください。ただし使用後、翌朝まで赤みが残るときは2日ほど使用をお休みしてください。



### ASVCは3分以上つけてしまったら？

3分以上つけていても、お肌の変化は同じことがわかっています。長くつけても違いはありません。洗い流さずに寝てしまった場合、個人差はありますがお肌が赤くなることがあります。もしも赤くなるなどの症状が出た場合にも、使用を2日控えていただくと元に戻ります。

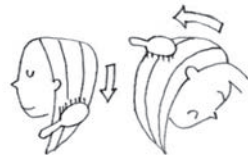


## ●湯シャンを上手に行なうには

慣れるまでは、以下の手順で7～10分を目安に丁寧に洗いましょう。

1.

獣毛のブラシで髪をよくブラッシングします。



2.

シャワーを地肌にあてながら、指の腹を使い小刻みに軽く揉むような感じで洗います。髪を分けながら、頭皮をまんべんなく洗うのがポイントです。



3.

汚れが気になる方は、洗面器にお湯をため頭をつけて、地肌と髪の根元を洗いましょう。



4.

指で髪をとかすようにしながら、すすぎはシャワーで充分時間をかけて行ないます。



Point

1. やや高めのお湯の温度 2. 念入りなブラッシング 3. 充分なすすぎ

湯シャン成功の秘訣は、まず1ヶ月続けることです。

髪を洗うときに地肌を強くこすりすぎるとフケの原因となります。やさしく洗いましょう。

かゆみがなかなかとれないという方は、枕カバーなどの寝具を、石けんや柔軟剤、蛍光増白剤の入った洗剤で洗っていることが考えられます。いま一度、洗濯洗剤を確認してみてください。